

令和7年度

茨城県教育委員会委員

学校視察報告書

令和7年度教育委員学校視察校一覧

視察先	視察日	出席委員	視察内容	ページ
県立水戸高等特別支援学校	令和7年 5月29日(木)	伊藤委員 森 委員	・軽度知的障害のある生徒を対象とした高等部 単独の特別支援学校 ・産業科における職業教育を通して、卒業時には企業等への就職率100%を目指した教育活動を展開	1
かすみがうら市立霞ヶ浦中学校	令和7年 6月27日(金)	富田委員 磯部委員	・生成AIパイロット校、リーディングDX校 ・地域と連携したキャリア教育、NIE教育	2
つくば市立沼崎小学校	令和7年 7月7日(月)	幡谷委員 磯部委員	・授業改善・授業力向上のための職員研修 ・校内環境整備の充実	3
水戸市立酒門小学校	令和7年 7月8日(火)	幡谷委員 森 委員	・学校運営協議会で熟議を繰り返し、学校課題の解決に向けて、地域や保護者等と協働で取り組んでいる。	4
学校法人三幸学園 飛鳥未来きぼう高等学校(水戸本校)	令和7年 7月11日(金)	富田委員 幡谷委員	・2024年4月開校。水戸を本校とする広域通信制高校 ・生徒自身の生活や目標に合わせ、5種類のスタイルから自分に合った通学日数や専門科目などを選択可能 ・通信制に通学する多様な生徒をサポートし、生徒が学校生活を安心して送れるよう毎週・毎月1回、クラス担任によるHRで疑問や不安を解消できるよう取り組むとともに、保護者と連携を密にする支援を実施	5
県立伊奈特別支援学校	令和7年 9月1日(月)	幡谷委員 伊藤委員 磯部委員	・年々児童生徒が増加している中でも、児童生徒の資質・能力を育成できるよう、教員の授業力や専門性の向上に努めるとともに、学習形態の工夫等を行っている。 ・地域の学校等への支援にも力を入れている。	6
県立日立第一高等学校・日立第一高等学校附属中学校	令和7年 9月4日(木)	富田委員 伊藤委員	・4期4年目のSSH校として本県の科学教育を牽引 ・附属中(並木中等と合同チーム)が、R6「科学の甲子園ジュニア全国大会」優勝	7
潮来市立延方小学校	令和7年 9月5日(金)	磯部委員 森 委員	・ICTを活用した授業を展開(特に3・4・5年では、思考ツールの活用に工夫) ・学習の目当てを掲示し、ゴールを意識した授業を展開 ・放送大学准教授から助言を受け、ICT活用に関する授業の充実を図っている。	8
結城市立結城東中学校	令和7年 10月14日(火)	富田委員 幡谷委員	・英語スペシャリスト教員が在籍し、ほぼオールイングリッシュで授業をするなど、英語教育に力を入れている。	9
県立石下紫峰高等学校	令和7年 10月16日(木)	富田委員 磯部委員	・外国人生徒支援重点校 ・少人数習熟度別授業による基礎学力の定着を重視した共通科目と40以上の自由選択科目からなる「自分さがし」ができるカリキュラム	10
高萩市立秋山小学校	令和7年 10月30日(木)	幡谷委員 磯部委員 森 委員	・(R6 県指定)小学校における理科専科教員等による授業公開 ・理科専科教員が自作教材等を活用した授業実践を公開するなど、授業の質の向上に意欲的に取り組んでいる。	11
神栖市立軽野東小学校	令和7年 11月27日(木)	富田委員	【外国籍の生徒が一定数在籍している学校】 ・日本語指導センターを設置 ・週3日指導員が勤務 ・タガログ語、スペイン語、中国語に対応 ・市内小中学校の配付文書の翻訳や保護者面談の通訳などの支援を行っている。	12

学 校 視 察 報 告 書

1	視 察 校	県立水戸高等特別支援学校
2	視 察 日	令和7年5月29日(木)
3	視察委員	委員 伊藤 道子 委員 森 淳一
4	出 席 者	校長 鏑木 治 教頭 佐藤 典子 ほか (教育庁特別支援教育課) 指導担当 主任指導主事 大串 昌彦
5	日 程	10:00～10:30 学校概要説明等 10:30～11:30 授業参観等 11:30～12:00 学校職員との意見交換会
6	視察状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p> </div> </div>
7	感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内唯一の高等特別支援学校として、「楽校(がっこう)をつくる」をスローガンに、生徒にとって楽しく、保護者に信頼され、教職員が誇りと自信がもてる学校づくりを推進されていました。 ・ 職業教育をとおして、将来働き続けるために必要となる知識や技能の習得に取り組んでいました。 ・ 授業参観では、専門教科の各コースの生徒さんから、作業内容などを丁寧にご説明いただきました。それぞれのコースで生徒が真剣に授業に取り組んでいる姿が印象的でした。





学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	豊里学園 つくば市立沼崎小学校
2 視 察 日	令和7年7月7日（月）
3 視察委員	委員 幡谷 史朗 委員 磯部 大吾郎
4 出 席 者	校長 小林 真理子 教頭 浅尾 信也 ほか （つくば市教育委員会）教育長 森田 充 （ 同 ） 学び推進課 学校教育指導員 柳下 英子 （県南教育事務所） 学校教育課 主査 鶴見 徹也 （教育庁総務課） 総務担当 係長 鶴見 友和
5 日 程	10:05～10:25 学校概要説明等 10:30～11:10 授業参観等 11:15～12:00 学校職員との意見交換会
6 視察状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○施設見学</p>  </div> </div>
7 感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究心をもち目標に向かってチャレンジできる子どもを育成する学校づくり」を掲げ、児童が主体的に学ぶ取組を推進されていました。 ・市（行政）、地域、企業及び学校が連携しており、地域の専門家をゲストティーチャーとして招いた体験活動やキャリア教育に注力されているとの話を伺いました。 ・「問いをもつ勇気をもってほしい」「先生が答えを教えるのではなく「なぜ」と問いかけている」という校長先生のお話が印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1	視 察 校	学校法人三幸学園 飛鳥未来きぼう高等学校（水戸本校）
2	視 察 日	令和7年7月11日（金）
3	視察委員	委員 富田 敬子 委員 幡谷 史朗
4	出 席 者	学校法人三幸学園執行役員 山内 陽介 校長 鈴木 一弘 教頭 萩元 智子 高校事務局マネージャー 堀江 大志 （教育庁私学振興室）室長補佐 坪井 麻紀子
5	日 程	13:30～14:00 挨拶、学校説明等 14:40～14:30 授業見学・校舎見学 14:40～15:00 法人説明、懇談等 15:00～15:30 生徒紹介、質疑応答等
6	視察状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  <p>○生徒紹介、意見交換</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  <p>○生徒紹介、意見交換</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>
7	感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の目標やライフスタイルに合わせた専門科目・通学方法の選択により、「自分らしさ」を尊重する教育を実践されていました。 ・クラス担任制の採用や参加申込型の学校行事など、生徒が安心して楽しく学校生活を送れるような環境づくりに取り組まれました。 ・懇談での「この学校に入って本当によかった」という生徒さんの言葉が非常に印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1	視 察 校	県立伊奈特別支援学校
2	視 察 日	令和7年9月1日(月)
3	視察委員	委員 幡谷 史朗 委員 伊藤 道子 委員 磯部 大吾郎
4	出 席 者	校長 大木 勉 教頭 安 伸夫 教頭 高野 康子 教頭 瀬尾 理絵子 ほか (教育庁特別支援教育課) 指導担当 主任指導主事 大串 昌彦
5	日 程	14:00~14:15 学校概要説明 14:15~15:15 授業参観、施設及び下校風景視察等 15:15~16:00 学校職員との懇談
6	視察状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>○下校風景見学</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○下校風景見学</p>  </div> </div>
7	感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「教員も主体的な学びや安全な生活のあり方を想像してほしい。教員個々の『したい』という意欲や根拠を大切にしたい」という校長先生のお話が印象的でした。 ・ 下校時には、スクールバスや放課後等デイサービス送迎車、自転車といった多様な手段に応じ、先生方が車両誘導や引き渡しを行うなど、安全かつ確実な下校体制を徹底されていました。 ・ 教職員も児童生徒も皆明るい表情で活動されており、安心して学校生活を送れている様子が伝わってきました。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	県立日立第一高等学校・日立第一高等学校附属中学校
2 視 察 日	令和7年9月4日(木)
3 視察委員	委員 富田 敬子 委員 伊藤 道子
4 出 席 者	校長 細貝 雅之 副校長 小坏 正代 高校教頭 椎名 秀文 中学校教頭 花田 喜龍 ほか
5 日 程	14:05～14:45 授業参観等 14:45～15:30 学校概要説明、学校職員、生徒との懇談等
6 視察状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○教職員・生徒との懇談</p>  </div> </div>
7 感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が教壇で説明を行い、先生や他の生徒との質疑応答が活発に交わされている授業などを参観しました。 ・県内最長となる第IV期SSHの指定を受け、「科学的思考力を持ち、ディスカッションができるリーダーの育成」を掲げた主体的で探究的な学びを実践されていました。 ・懇談では、「令和6年科学の甲子園ジュニア」で全国優勝を果たした生徒さんから、大会の様子やそれまでの取組についてお話を伺いました。これからも科学を楽しむ心を大切に、将来の夢へ向かって飛躍されることを期待しています。

学 校 視 察 報 告 書

1	視 察 校	潮来市立延方小学校
2	視 察 日	令和7年9月5日(金)
3	視察委員	委員 磯部 大吾郎 委員 森 淳一
4	出 席 者	校長 高岡 成郎 教諭 高口 典 教諭 田口 美紗都 ほか (潮来市教育委員会) 教育長 埴 誠一 (同) 学校教育指導室長 大里 俊一 (鹿行教育事務所) 学校教育課長 長塚 健一
5	日 程	10:15～10:45 学校概要説明等 10:50～11:30 授業参観 11:35～12:10 学校職員との意見交換会 12:10～13:00 給食
6	視察状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">○授業参観</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">○授業参観</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">○授業参観</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">○給食の会食</p>  </div> </div>
7	感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいあい(I.I)大作戦」(たすけあい・みがきあい・きそいあい… Impression・I want to～・Innovation…)を合言葉に、思いやりの心をもち、たくましく生きる児童の育成に取り組む姿を拝見しました。 ・授業では、生成AIを活用した学習の振り返りを中心に、先進的なICTの技術を授業に積極的に取り入れていました。 ・生成AIの特性を理解した上での、より深い学びの展開に大きな可能性を感じました。

学 校 視 察 報 告 書

1	視 察 校	結城市立結城東中学校
2	視 察 日	令和7年10月14日(火)
3	視察委員	委員 富田 敬子 委員 幡谷 史朗
4	出 席 者	校長 渡邊 孝典 教頭 上野 淳 ほか (結城市教育委員会) 参事兼指導課長 湯本 勝洋 (県西教育事務所) 学校教育課 主任指導主事兼生徒指導班長 中山 幸一
5	日 程	10:00~10:15 学校概要説明等 10:20~11:10 授業参観 11:20~12:00 学校職員との懇談など
6	視察状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">○授業参観</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">○授業参観</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">○授業参観</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">○施設見学</p>  </div> </div>
7	感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな心を持ち 自ら考え行動できる 心身ともにたくましい生徒を育成する」を教育目標に掲げ、これからの社会を「生きる力」の育成に取り組まれていました。 ・英語スペシャリスト教員によるオールイングリッシュの授業では、生徒が意思疎通を図ろうと、身振り手振りを交えて真剣に学習に励んでいました。 ・市と学校が連携し、外国籍の生徒や保護者を「ようこそ」という意識、姿勢で受け入れているとのことがお話が印象的でした。





学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	県立石下紫峰高等学校
2 視 察 日	令和7年10月16日(木)
3 視察委員	委員 富田 敬子 委員 磯部 大吾郎
4 出席者	校長 涌井 太郎 教頭 横田 真美 ほか
5 日 程	<p>9:30～9:50 授業参観</p> <p>9:55～10:05 学校概要説明</p> <p>10:10～11:10 施設見学、授業参観</p> <p>11:15～11:30 学校長との意見交換</p>
6 視察状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○施設見学</p>  </div> </div>
7 感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉や介護、美容、自動車整備士など、実用的で多種多様な自由選択科目を設けたキャリア教育を推進されていました。 ・外国人生徒支援の重点校として、少人数、習熟度別の授業を実施されていました。教員との距離も近く、日本語でのコミュニケーションに不安がある生徒に対しても、きめ細やかな授業を展開されていました。 ・授業では、外国籍の生徒も積極的に質問や意見を発表している姿が印象的でした。様々な文化に触れ、多様性を認め合いながら、グローバル社会で活躍していくことを期待しています。

学 校 視 察 報 告 書

1	視 察 校	高萩市立秋山小学校
2	視 察 日	令和7年10月30日(木)
3	視察委員	委員 幡谷 史朗 委員 磯部 大吾郎 委員 森 淳一
4	出 席 者	校長 酒井 裕隆 教頭 宮本 留美子 ほか (高萩市教育委員会) 学校教育課長 和田 真一 (県北教育事務所) 学校教育課 主任指導主事兼生徒指導班長 矢花 博之
5	日 程	10:00～10:20 学校概要説明等 10:25～11:10 授業参観等 11:20～11:50 学校職員との懇談 12:00～12:30 給食(児童との会食)
6	視察状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>○授業参観</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>○児童との給食</p>  </div> </div>
7	感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・「『なりたい自分』づくり」を学校教育目標に掲げ、子どもたち自身が「どうなりたいか」を思い描き、努力をすることで自信を深められるようにしたいと校長先生からお話を伺いました。 ・理科の授業では、児童が前のめりになって多くの「なぜ」を発表する姿が見られました。 ・懇談での、理科専科の先生による「学習動画づくりは好きなことで、楽しみで行っている」という言葉が印象的でした。先生の「好き、楽しみ」という姿勢が、子どもたちの関心や興味を引き出していると実感しました。

学校視察報告書

1 視察校	神栖市立軽野東小学校
2 視察日	令和7年11月27日(木)
3 視察委員	委員 富田 敬子
4 出席者	校長 川田 寛子 教頭 佐々木 仁 ほか (神栖市教育委員会) 教育指導課 指導主事 川島 友美子 (鹿行教育事務所) 学校教育課長 長塚 健一
5 日程	13:30~14:10 授業参観等 14:20~14:35 学校概要説明等 14:45~15:10 学校職員との懇談等
6 視察状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  <p>○授業参観</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  <p>○学校職員との意見交換会</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>○授業参観</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○学校職員との意見交換会</p>  </div> </div>
7 感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・校内に神栖市日本語指導教室（日本語指導センター）を設置し、日本語支援が必要な外国籍や帰国した児童に対し、日本の生活に早く慣れて楽しく過ごせるよう丁寧な支援を行っていました。 ・20年以上前から多国籍の児童が在籍しており、長年にわたり翻訳や通訳などの支援を実施してきたとのこともお話も伺いました。 ・言語支援が必要な児童へのきめ細やかな支援により、国籍に関係なく、クラス全体が一体感をもって授業を展開されている姿が印象的でした。